



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社  
 コード番号 2053 URL <https://www.chubushiryo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 晴信  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-204-3050  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日  
 配当支払開始予定日 2022年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	115,821	21.1	1,153	△61.6	1,394	△56.7	272	△87.9
2022年3月期第2四半期	95,614	10.2	3,006	18.4	3,217	17.2	2,249	43.8

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 53百万円（△97.5%） 2022年3月期第2四半期 2,145百万円（13.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	9.20	—
2022年3月期第2四半期	74.93	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	96,305	61,483	63.6
2022年3月期	88,014	62,159	70.4

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 61,253百万円 2022年3月期 61,938百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,000	9.6	2,200	△46.8	2,600	△43.0	1,100	△65.8	37.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	30,371,908株	2022年3月期	30,371,908株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	824,287株	2022年3月期	612,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	29,584,022株	2022年3月期2Q	30,023,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなか、景気は緩やかに持ち直しているものの、急激な円安の進行や資源・エネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、昨年から上昇傾向にあった主原料のとうもろこし価格が、ロシアによるウクライナ侵攻の深刻化や堅調なエタノール生産等から、当期に入ってさらに上昇しました。7月下旬にいったん値を下げたものの、米国の天候不順などから再び上昇基調に転じました。また、日米金利差の拡大などを背景に、外国為替相場は急速に円安が進み、飼料の原材料価格は大幅に上昇しております。このような状況を反映して、飼料メーカー各社は、4月及び7月に配合飼料価格を値上げしました。また、商系飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価が前年同期比で約3倍に上昇するなど、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは飼料セグメントの規模拡大と収益力向上、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を基に、強固な収益基盤の構築に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,158億21百万円（前年同四半期比21.1%増）、営業利益11億53百万円（前年同四半期比61.6%減）、経常利益13億94百万円（前年同四半期比56.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億72百万円（前年同四半期比87.9%減）となりました。

売上高は、主力の飼料事業の平均販売価格や販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、21.1%の増収となりました。営業利益は、売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加により61.6%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより減益幅が拡大し、87.9%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （飼料）

売上高は、畜産飼料の平均販売価格、販売量ともに前年同四半期を上回ったため、前年同四半期比21.4%増の1,094億円となりました。セグメント利益は、前年同四半期比97.8%減の72百万円となりました。主な要因は、畜産飼料について、採卵鶏用飼料やブロイラー用飼料の拡販を果たし、販売面は堅調に推移したものの、原料ポジション悪化による利益率の低下や飼料価格安定基金負担金単価の上昇による販売費及び一般管理費の増加、貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことなどにより減益となりました。また、水産飼料について、販売量が増加したものの、主原料の魚粉価格高騰やウナギ・ブリの稚魚の導入量が減少して競争が激化したことによる利益率低下などにより、業績が悪化したことによります。

#### （その他）

売上高は、前年同四半期比17.5%増の64億20百万円、セグメント利益は、前年同四半期比46.3%増の4億44百万円となりました。増収増益の主な要因は、有機入り配合肥料や特殊卵の販売量、畜産用機器の販売台数及びメンテナンス案件数が増加したことによります。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ82億90百万円増加の963億5百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加79億68百万円、原材料及び貯蔵品の増加26億23百万円、投資その他の資産のその他の増加13億60百万円、固定資産に係る貸倒引当金の増加10億42百万円、現金及び預金の減少29億38百万円であります。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ89億66百万円増加の348億21百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加38億42百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加51億57百万円であります。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ6億75百万円減少の614億83百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少2億33百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億68百万円でありませす。総資産が増加し純資産が減少した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ6.8ポイント低下の63.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、18億3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の減少は29億38百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は60億54百万円（前年同四半期比36億52百万円増加）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益3億53百万円、減価償却費14億44百万円、貸倒引当金の増加11億45百万円、仕入債務の増加36億86百万円であります。一方、主な資金使用の要因は、売上債権の増加90億44百万円、棚卸資産の増加33億29百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は24億87百万円（前年同四半期は16億57百万円の資金獲得）となりました。主な資金使用の要因は固定資産の取得による支出21億90百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は55億79百万円（前年同四半期は39億23百万円の資金使用）となりました。主な資金獲得の要因は借入金の増加が純額で60億85百万円であります。一方、主な資金使用の要因は配当金の支払額5億5百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月9日に公表いたしました2023年3月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年10月31日）公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,751	1,813
受取手形及び売掛金	36,372	44,340
商品及び製品	2,415	3,064
仕掛品	635	703
原材料及び貯蔵品	10,065	12,689
その他	3,585	3,300
貸倒引当金	△243	△347
流動資産合計	57,583	65,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,667	8,670
機械装置及び運搬具(純額)	6,914	6,926
工具、器具及び備品(純額)	1,083	1,146
土地	7,049	7,049
建設仮勘定	427	774
有形固定資産合計	24,142	24,567
無形固定資産	574	533
投資その他の資産		
投資有価証券	4,779	4,386
その他	1,082	2,442
貸倒引当金	△147	△1,190
投資その他の資産合計	5,714	5,639
固定資産合計	30,431	30,741
資産合計	88,014	96,305

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,650	18,492
短期借入金	1,106	7,207
1年内返済予定の長期借入金	1,976	1,032
未払法人税等	773	446
賞与引当金	452	462
役員賞与引当金	32	4
その他	2,530	2,315
流動負債合計	21,522	29,960
固定負債		
長期借入金	1,036	1,964
債務保証損失引当金	16	5
退職給付に係る負債	525	538
資産除去債務	70	71
その他	2,683	2,281
固定負債合計	4,332	4,861
負債合計	25,855	34,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,337	4,323
利益剰余金	51,971	51,738
自己株式	△757	△966
株主資本合計	60,287	59,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	842
繰延ヘッジ損益	413	412
為替換算調整勘定	38	95
退職給付に係る調整累計額	87	71
その他の包括利益累計額合計	1,650	1,421
非支配株主持分	220	230
純資産合計	62,159	61,483
負債純資産合計	88,014	96,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	95,614	115,821
売上原価	88,172	108,953
売上総利益	7,441	6,867
販売費及び一般管理費	4,435	5,713
営業利益	3,006	1,153
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	114	129
持分法による投資利益	28	38
貸倒引当金戻入額	0	0
債務保証損失引当金戻入額	—	10
その他	83	76
営業外収益合計	230	258
営業外費用		
支払利息	12	14
債務保証損失引当金繰入額	2	—
為替差損	1	—
その他	2	2
営業外費用合計	19	17
経常利益	3,217	1,394
特別利益		
固定資産売却益	4	3
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産除売却損	7	3
貸倒引当金繰入額	—	1,040
特別損失合計	7	1,043
税金等調整前四半期純利益	3,214	353
法人税、住民税及び事業税	1,066	418
法人税等調整額	△102	△340
法人税等合計	963	77
四半期純利益	2,250	276
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,249	272

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,250	276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	△268
繰延ヘッジ損益	△29	△1
為替換算調整勘定	21	40
退職給付に係る調整額	△10	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	14	22
その他の包括利益合計	△105	△222
四半期包括利益	2,145	53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,141	43
非支配株主に係る四半期包括利益	4	10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,214	353
減価償却費	1,501	1,444
賞与引当金の増減額 (△は減少)	284	9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70	△28
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	1,145
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△3	△6
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	2	△10
受取利息及び受取配当金	△117	△131
支払利息	12	14
為替差損益 (△は益)	1	△8
持分法による投資損益 (△は益)	△28	△38
固定資産除売却損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,151	△9,044
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,550	△3,329
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,967	3,686
その他	△1,155	399
小計	△2,088	△5,542
利息及び配当金の受取額	115	131
持分法適用会社からの配当金の受取額	76	109
利息の支払額	△13	△15
法人税等の支払額	△492	△737
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,402	△6,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△52	△0
事業譲渡による収入	2,801	—
関係会社株式の取得による支出	△74	—
固定資産の取得による支出	△1,221	△2,190
固定資産の売却による収入	24	15
貸付けによる支出	△55	△300
貸付金の回収による収入	240	0
その他の支出	△8	△16
その他の収入	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,657	△2,487

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,071	6,100
長期借入れによる収入	200	1,600
長期借入金の返済による支出	△2,150	△1,615
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△449	△505
非支配株主への払戻による支出	△451	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,923	5,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,654	△2,938
現金及び現金同等物の期首残高	11,737	4,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,082	1,803

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	90,148	90,148	5,466	95,614	—	95,614
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	90,148	90,148	5,470	95,619	△4	95,614
セグメント利益	3,216	3,216	303	3,520	△305	3,214

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△630百万円、金融収支437百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	109,400	109,400	6,420	115,821	—	115,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	21	21	△21	—
計	109,400	109,400	6,442	115,843	△21	115,821
セグメント利益	72	72	444	516	△162	353

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△553百万円、金融収支515百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。